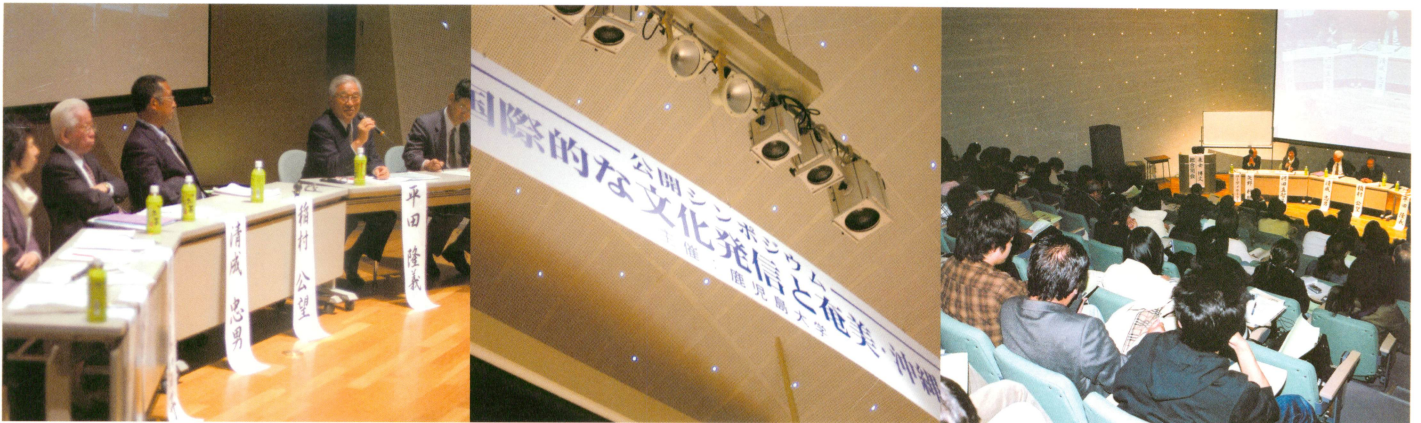


ISSN-1348-8872

# AMAMI News Letter

NO.26

〈2005年度 春季号〉



## ■特集：公開シンポジウム

シンポジウム「国際的な文化発信と奄美・沖縄」

## ■研究調査レビュー

サンゴ礁海域の安全利用に関する基礎的研究

分権改革と離島の小規模校－国の義務教育費の一般財源化と学校現場－

奄美ニューズレター

鹿児島大学

2006年 3月

## ■Special Report : Public Symposium

- 1 International Transmission of Cultures : Amami and Okinawa  
Panelists : Inamura Kōbō  
(Professor, Chuo University)  
Kawada Machiko (Travel writer)  
Kiyonari Tadao  
(Consultant, Hosei University)  
Hirata Takayoshi  
(Mayor, Naze-shi)  
Yamada Makoto (Dean, LEH)  
Coordinator : Yano Toshiaki (Vice President)

## ■Research Review

- 25 Risk-Reduction during Marine Leisure in Coral Reefs  
Nishi Ryuichirō (Faculty of Engineering)  
Futatsumachi Satoru (10<sup>th</sup> Regional Coast Guard Headquarters)  
Itō Hideyuki (10<sup>th</sup> Regional Coast Guard Headquarters)  
Nagayama Akiko (Graduate School of Science and Engineering)
- 32 Decentralized Reform and Small Schools in Islands  
Sakae Katsuhito (Non-degree Student, Amami Satellite Campus)

## ■Information

KAGOSHIMA UNIVERSITY

AMAMI NEWS LETTER



## 奄美ニューズレターについて

- 奄美ニューズレターは、2003年度からはじまった鹿児島大学全学総合プロジェクト「島嶼圏開発のグランドデザイン--- 南西諸島における環境ガバナンス型地域政策」の成果を発表する目的で発刊されました。
- 奄美群島および沖縄を含む広い南西諸島を沖縄ではなく、奄美群島から分析しようという新しい試みです。
- 研究は、文化・自然・人・経済・情報・農学・工学という鹿児島大学の研究者を中心とする研究グループによって行われております。奄美ニューズレターは、その研究を広く南西諸島の研究者に公開し、わが国の島嶼研究の向上を目指すものです。
- 奄美ニューズレターは、2005年11月に発刊された24号まで、月刊でしたが、2006年1月発刊の25号からは、発行責任を奄美委員会が担うことになり、1年間計4号を季刊で発刊することになりました。
- 奄美ニューズレターは、25号から季刊の学術雑誌となり、下記の内容を掲載いたします。
  - ・研究調査レビュー 鹿児島大学所属の研究者からの成果発表
  - ・しまゆむた 奄美群島区の地元研究者からの現地レポート
  - ・島嶼スケッチ 上記以外の寄稿文
  - ・鹿大資料紹介 鹿児島大学所蔵奄美資料の紹介
  - ・ちーびし 執筆者紹介、奄美関連の行事案内、編集後記
- 企画と編集を担当する奄美委員会のメンバーは、下記のとおりです。

### 奄美委員会

研究科長	山田 誠	
奄美サテライト特任教授	井上 晃男	
奄美委員会委員長	萩野 誠	
法政策学科選出委員	飯田 泰雄	永野 司
経済情報学科選出委員	皆村 武一	北崎 浩嗣
人文学科選出委員	桑原 季雄	東 英寿

## 目次

### ■特集：公開シンポジウム

シンポジウム「国際的な文化発信と奄美・沖縄」

パネリスト：稲村 公望

(中央大学大学院公共政策研究科客員教授)

河田 真智子 (島旅作家)

清成 忠男 (法政大学学事顧問)

平田 隆義 (名瀬市長)

山田 誠 (鹿児島大学法文学部長)

コーディネーター：矢野 利明 (鹿児島大学副学長)—————1

### ■研究調査レビュー

サンゴ礁海域の安全利用に関する基礎的研究

西 隆一郎 (鹿児島大学工学部)

二ツ町 悟・伊藤 秀行 (第十管区海上保安本部)

長山 昭夫 (鹿児島大学大学院理工学研究科)—————25

分権改革と離島の小規模校

—国の義務教育費の一般財源化と学校現場—

栄 勝仁 (奄美サテライト教室 科目等履修生)—————32

■ちーびし—————38